

文化芸術推進基本計画(第 I 期)に関する意見

平成 29 年 11 月 24 日

全国伝統的建造物群保存地区協議会

副会長 日南市 (宮崎県)

日南市教育委員会生涯学習課長 岡本武憲

【重要伝統的建造物群保存地区とは】

- ◎ 周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもので、現在 115 地区 (95 市町村) が国から選定されている。
- ◎ 面として保存されている重要伝統的建造物群保存地区 (重伝建地区) の歴史的風致のほかでは、まつりや伝統文化が継承されており、日常的に日本の伝統文化を感じさせる暮らしや営みがある。
- ◎ 1975 年の伝建制度発足時から、地区住民と行政、研究者が協働、連携して町並みを守ってきた 40 年以上の蓄積がある。
- ◎ 歴史的建造物だけでなく、伝統文化、伝統産業等を担う地区住民の暮らしや活動を、総合的、一体的に保存してきた。
- ◎ 本物の町並みを活かして、観光や地域振興に取り組み、地域経済の活性化や人口増加に大きな成果を上げてきた。
- ◎ 外国人観光客に対して本物の日本の伝統や文化を最も伝えることができる観光資源として、国家戦略で文化財を中核とした観光拠点を全国 200 ヶ所 (「観光ビジョン実現プログラム 2016」他) に挙げられている。
- ◎ これまでも映画のロケ地や各種文化芸術活動のフィールドとして活用されてきた。
- ◎ 近年では、外国人観光客の増加に対応して古民家を活用した宿泊施設が多数計画されている。(歴史的資源を活用した観光まちづくり TF)

【文化芸術推進基本計画に関する意見】

- ◎ 戦略 1~6 の(1)基本的な方向性と(2)今後 5 年間に講ずべき文化芸術に関する具体的な施策に、重要伝統的建造物群保存地区 (重伝建地区) の文言とともにその役割や施策を記述していただきたい。
- ◎ 重伝建地区を未来に引き継ぐために、次のような課題がある。
 - ・ 人口減少、少子高齢化によるコミュニティの衰退を回避するため、重伝建地区を拠点とした地域振興、観光・産業振興が必要。
 - ・ 歴史的建造物を修理するだけでなく、修景事業や地域振興などの歴史的町並み全体のマネジメントを担う、伝建専門員、文化財担当や学芸員など新たな役割を担う人材育成が必要。
 - ・ 重伝建地区における空き家は、歴史的風致の阻害要因になることから、速やかな活用につながる施策が必要。